

泉崎村 橋梁長寿命化修繕計画



横穴橋

平成31年2月
(令和4年11月一部改訂)

福島県西白河郡泉崎村

— 目 次 —

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	8	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	12	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	12	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	13	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期	14
--	----

III. 優先順位一覧表	16
--------------	----

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 泉崎村の現状

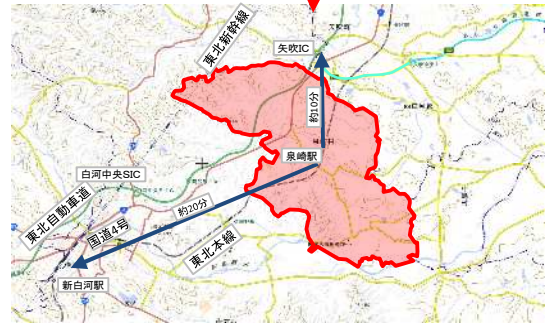
福島県中通り南部に位置する泉崎村は人口6,065人、面積35.4平方km（2022年5月1日現在）の村で、面積の約30%が山地に覆われていますが、そのほかは比較的平坦で、中心部を東西に流れる泉川の水源に恵まれた、水田地帯を形成しています。村の気候は内陸部にありながら比較的温暖で、降雪期間もわずかとなっています。

村の中央部にはJR東北本線の泉崎駅があるほか、国道4号及び東北縦貫自動車道、東北新幹線が村内を南北に通っています。村周辺には矢吹ICや白河中央SICがあり、その恵まれた交通環境を生かして、村内の工業団地には多くの大型企業が誘致されています。

村内には248路線（延長約157km）の村道があり、国道4号のほか3本の県道に通じる生活道路として、また農耕用や流通経路として幅広く利用されています。

村道に架かる橋梁は49橋ありますが、そのうち竣功後50年以上を経過した橋梁が35橋（全体の71%）あることや、5m未満の床版橋やBOX.Cが23橋（全体の47%）あることが特徴となっています。そのほか橋長14.5m以上の橋梁は8橋ありますが、全てが村中心部を流れる泉川に架かっています。

福島県内市町村位置図



2) 背景

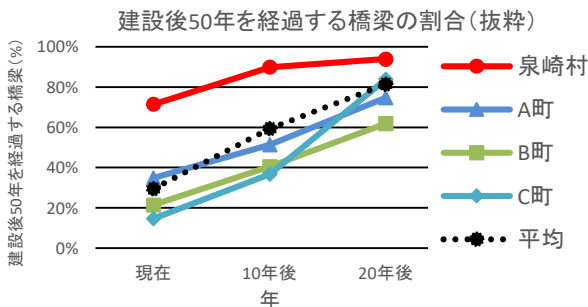
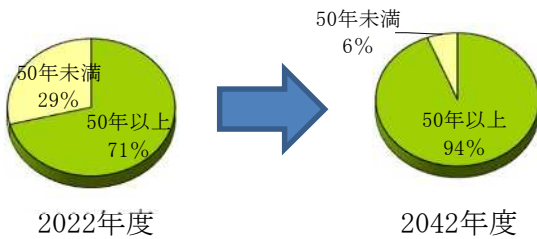
泉崎村の管理する橋梁の49橋は、現時点で建設後50年を経過する橋梁は全体の約71%で、10年後の2032年には90%、20年後の2042年には94%程度に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

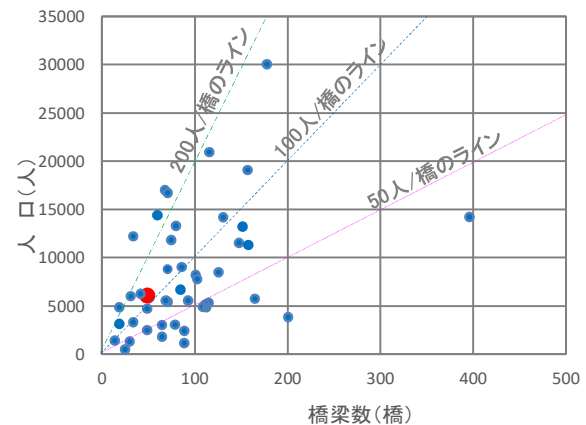
近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
泉崎村	35.43	6065	171.18	49	1.383	123.78
天栄村	225.52	5326	23.617	115	0.5099	46.313
玉川村	46.67	6213	133.13	42	0.8999	147.93
矢吹町	60.4	17020	281.79	68	1.1258	250.29

人口は2022年現在



福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

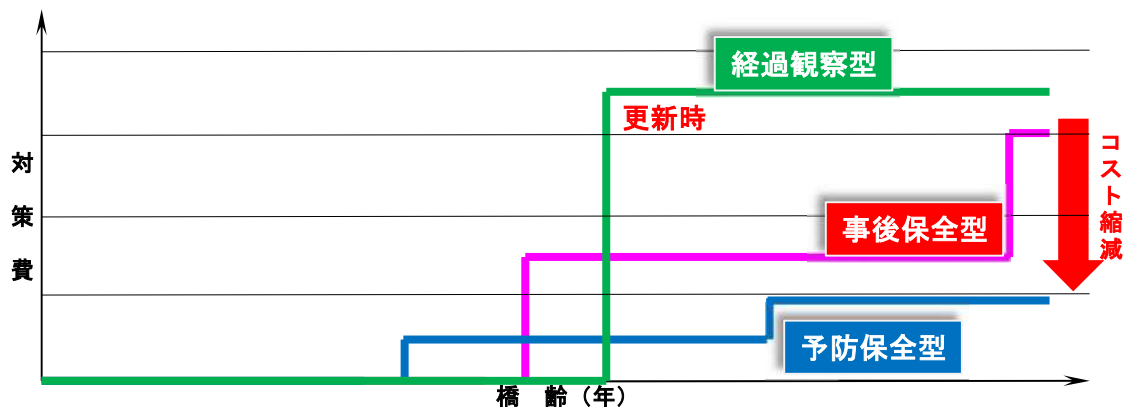
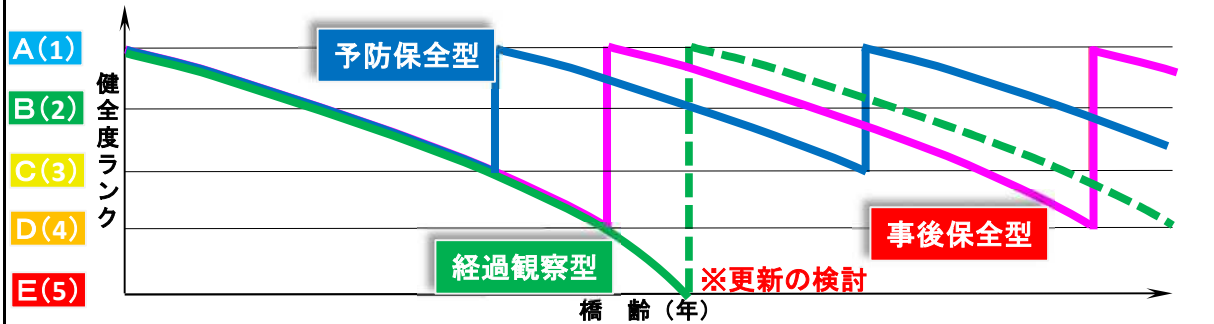


3) 目的

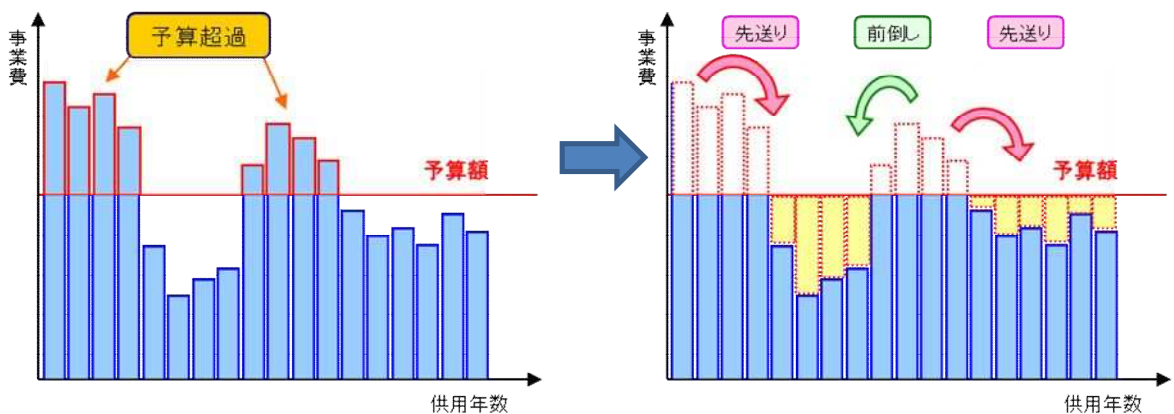
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト縮減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで泉崎村では、将来的な財政負担の低減および道路交通安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

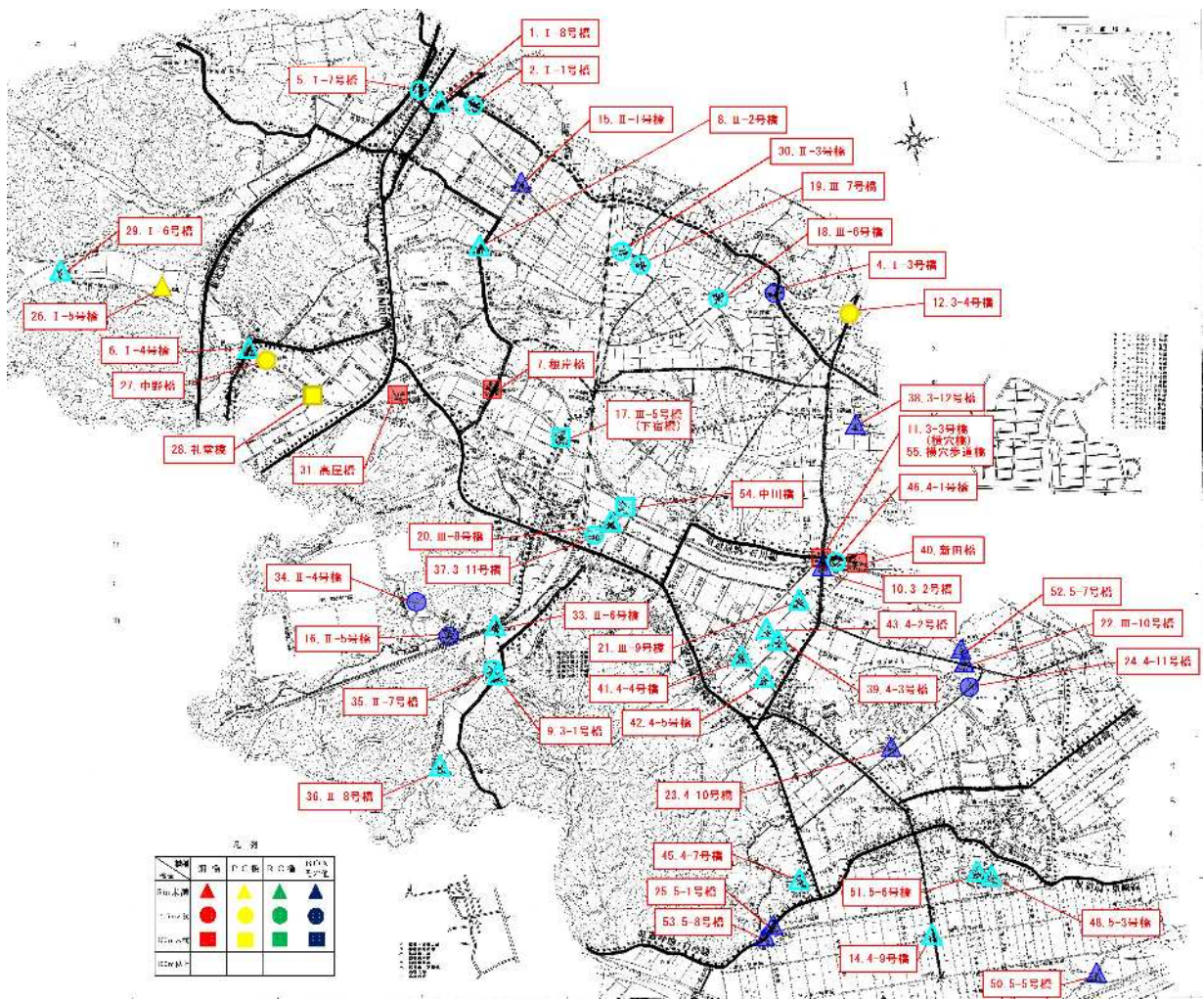


予算平準化のイメージ

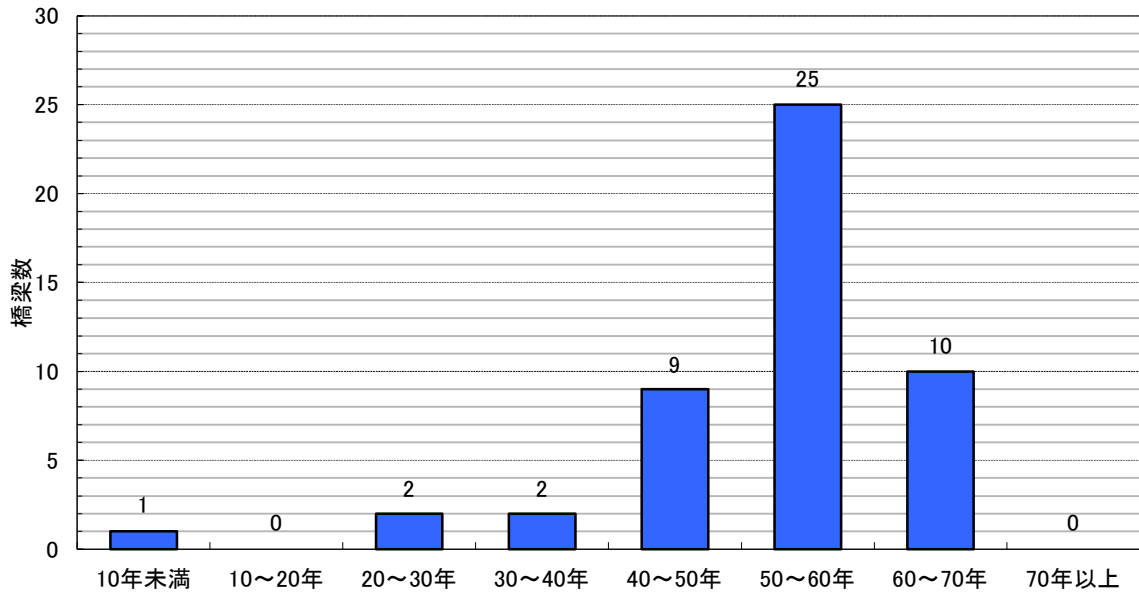
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
(対象施設)

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	13	11	25	49
うち計画の対象橋梁数	13	11	25	49
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち平成30年度計画策定橋梁数	13	11	25	49

※長寿命化修繕計画の対象：泉崎村が管理する橋長2m以上の橋梁全てを対象とします。



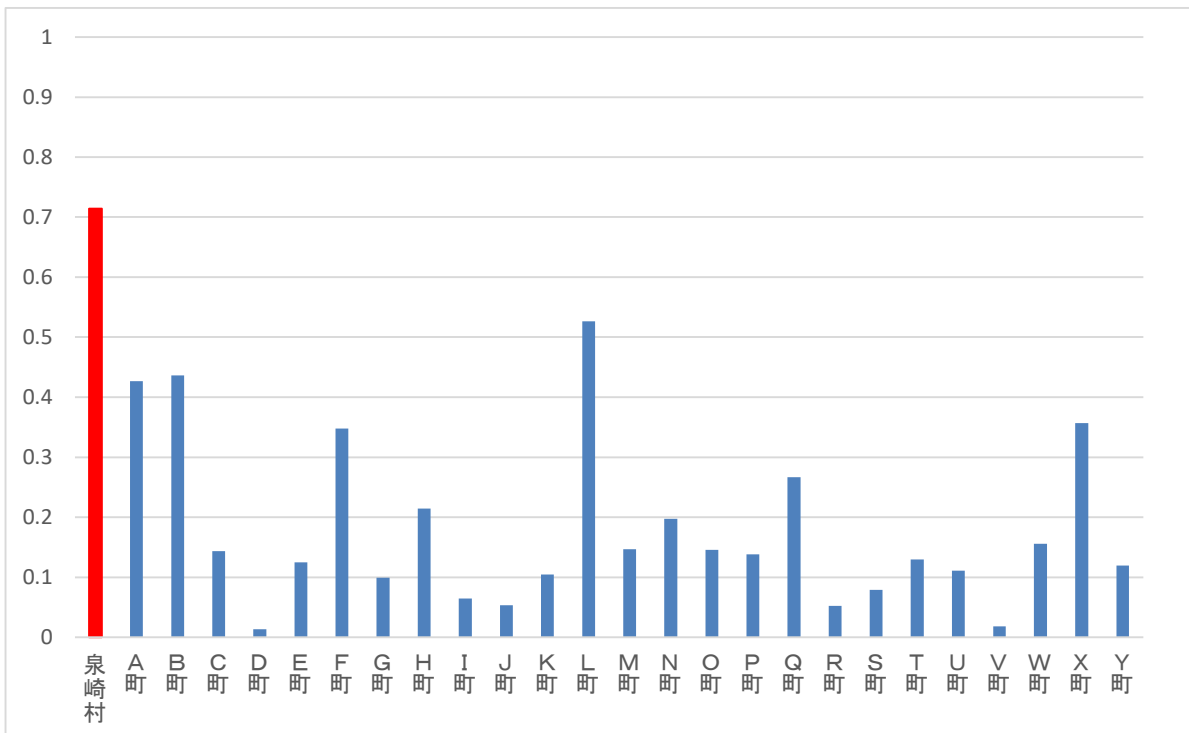
経過年数別橋梁数



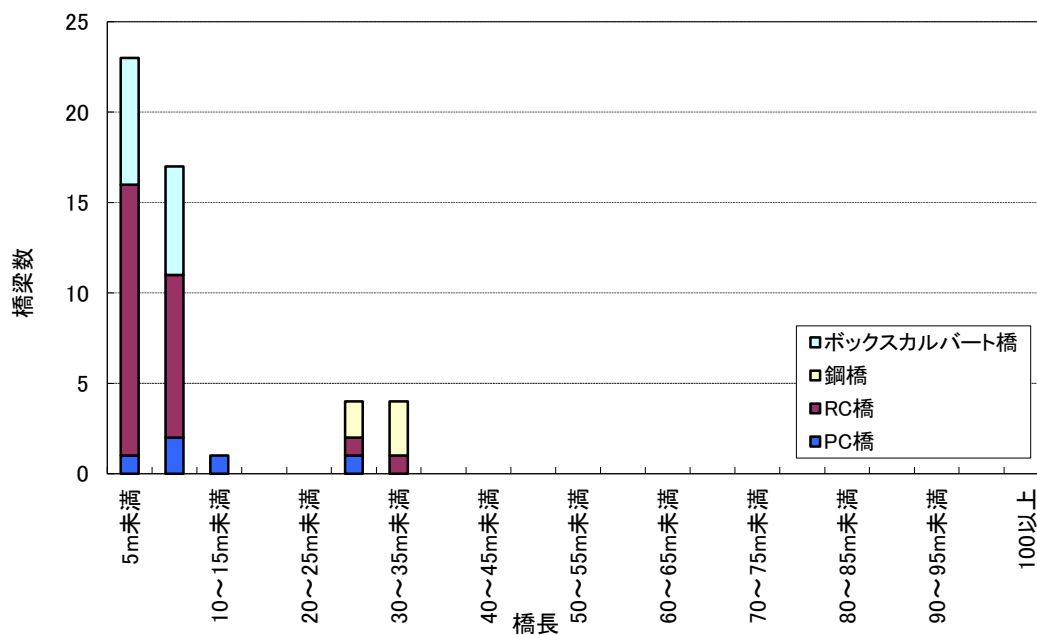
経過年数別橋梁数

※泉崎村が管理する49橋のうち、架設後50年以上を経過している橋梁は35橋あり、全体の71%を占めています。35橋の内の10橋は、架設後60年を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合

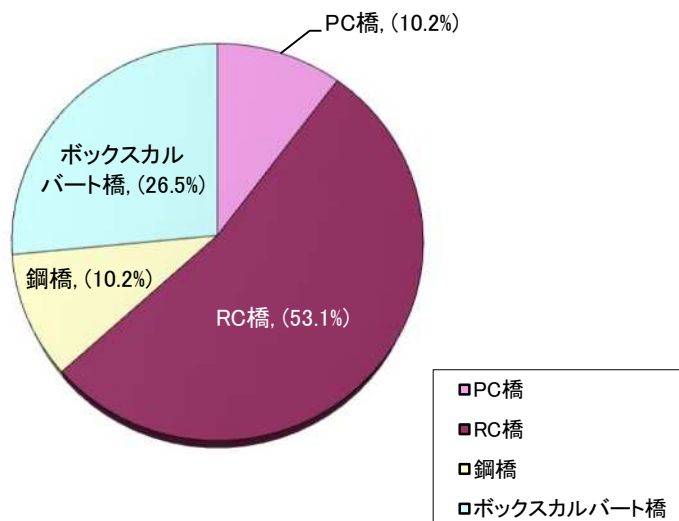


橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている49橋のうち、15m未満の橋梁が41橋あり全体の84%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではRC橋が26橋で全体の約53%、ボックスカルバート橋が13橋、PC橋が5橋でコンクリート橋が全体の90%を占めています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

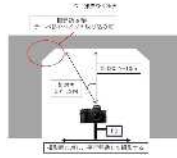
健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷の進行が無しまたはわずかで、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小スパン橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、3巡目点検(令和6年度以降順次実施予定)時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



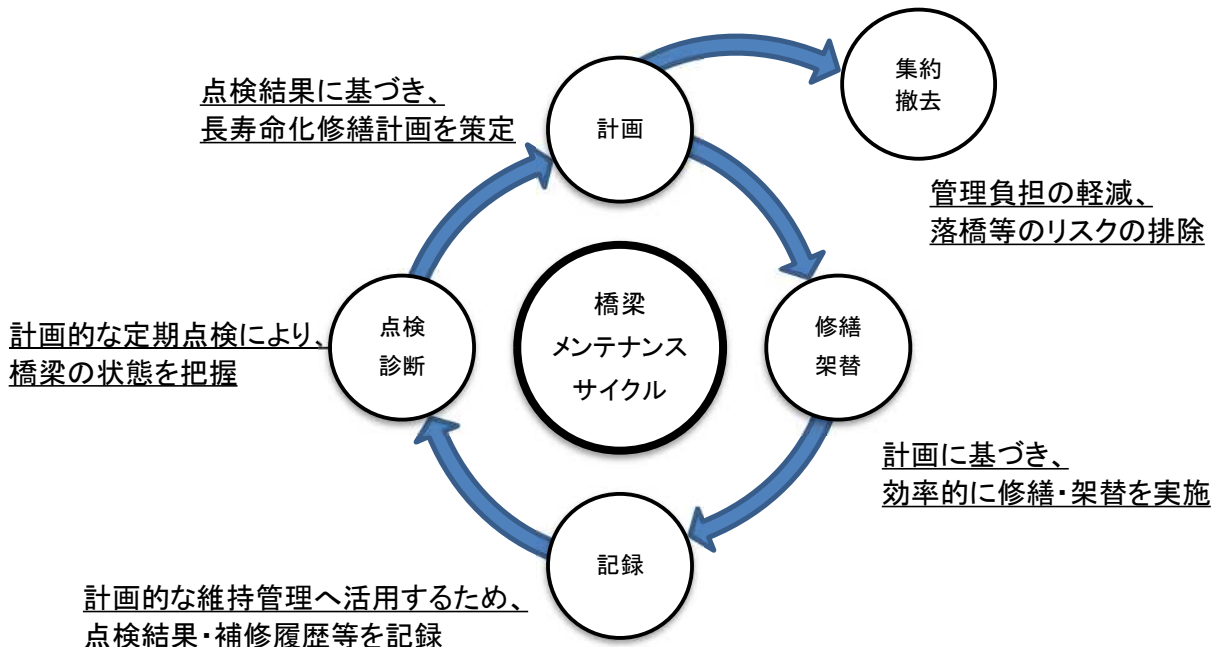
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、村職員によるパトロールを実施し、排水柵清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図



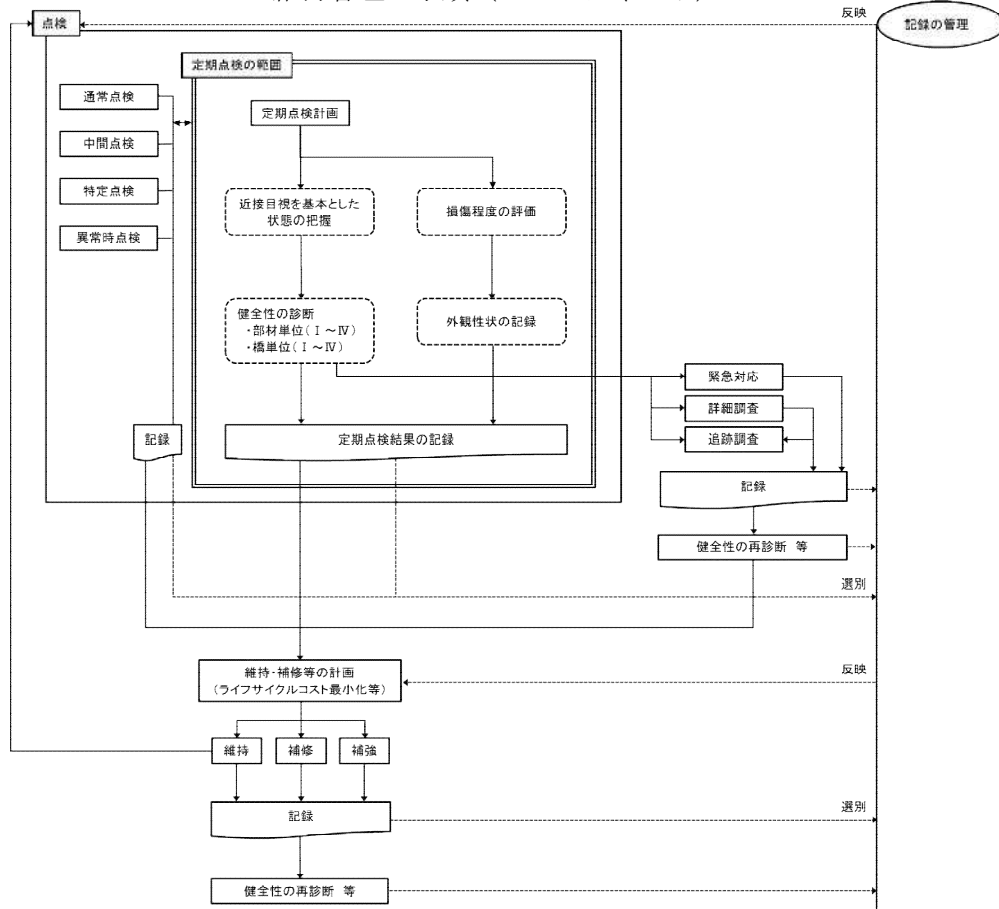
3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2019年～2068年)

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方

維持管理の手順（フローチャート）



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
(対策の優先順位の考え方)

泉崎村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約94%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S	本格予防保全型 ・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A	予防保全型 重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B	事後保全型 重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C	経過観察型 ・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水溝の 清掃及び畜産面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

(・費用の縮減に関する具体的な方針)

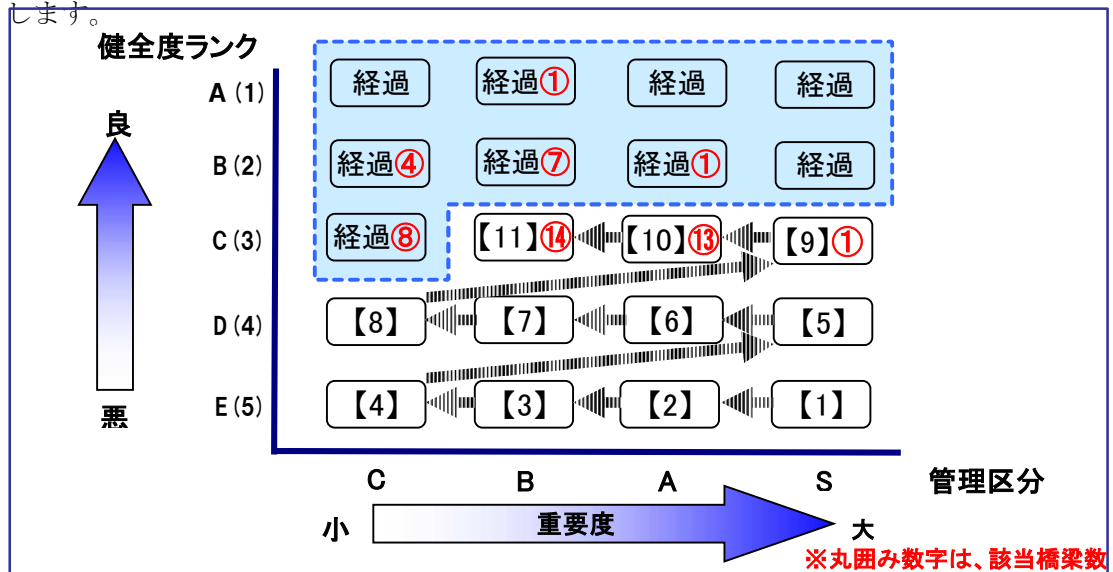
泉崎村の管理する1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めていきます。

※検討する橋梁：I-8号橋、4-9号橋（点検費5%縮減）

また管理橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします。



3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

泉崎村は平成28、29年度に近接目視による1巡目の定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。(判定区分「II」、健全度ランク「C(3)」)また、令和元年から2巡目の定期点検を実施中であり、令和5年度に計画策定の更新を行います。

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣功年	経過年	部材種別	健全度 ランク	健全度 区分	適 用
0009	3-2号橋	3.65	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.80	1972	50	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、その他、ひびわれ
0015	III-5号橋 (下宿橋)	30.40	2	RC橋	RC桁橋 (その他)	6.00	1965	57	主桁、横桁	C(3)	II	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0002	I-1号橋	6.60	1	RC橋	RC 中実床版	9.00	1954	68	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、ひびわれ、変形・欠損
0010	3-3号橋 (横穴橋)	34.85	1	鋼溶接橋	I桁 (不明)	8.00	1972	50	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0049	横穴歩道橋	34.95	1	鋼溶接橋	I桁 (合成)	0.00	1990	32	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0048	中川橋	26.84	2	RC橋	RC桁橋 (その他)	6.00	1966	56	主部材	C(3)	II	ひびわれ
0037	新田橋	33.45	2	鋼溶接橋	H形鋼 (不明)	5.00	1967	55	主部材、床版	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化、床版ひびわれ
0005	I-4号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.55	1965	57	床版、下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、うき、ひびわれ、変形・欠損
0021	4-10号橋	2.86	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.50	1966	56	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0003	I-3号橋	8.39	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	9.36	1984	38	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、ひびわれ
0029	高屋橋	26.72	2	鋼溶接橋	H形鋼 (不明)	2.00	1968	54	主桁、横桁、床版	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化、剥離・鉄筋露出
0001	I-8号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.60	1954	68	下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0026	礼堂橋	27.20	2	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1968	54	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0011	3-4号橋	7.30	1	PC橋	PC桁橋 (その他)	9.20	1972	50	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0020	III-10号橋	4.60	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.00	1976	46	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、ひびわれ
0022	4-11号橋	7.02	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	8.00	1966	56	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、ひびわれ、変形・欠損
0013	II-1号橋	2.39	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.50	1955	67	床版、下部工	C(3)	II	その他、沈下・移動・傾斜
0041	4-7号橋	2.10	1	RC橋	RC 中実床版	7.55	1955	67	下部工	C(3)	II	変形・欠損
0008	3-1号橋	2.58	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1973	49	下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、沈下・移動・傾斜
0025	中野橋	11.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.25	1965	57	床版	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0042	4-1号橋	5.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.70	1966	56	床版	C(3)	II	剥離・鉄筋露出
0017	III-7号橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1954	68	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0016	III-6号橋	5.20	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1954	68	床版、下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
0018	III-8号橋	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	5.40	1967	55	床版	C(3)	II	床版ひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出
0028	II-8号橋	6.02	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1954	68	床版、下部工	C(3)	II	遊間の異常、変形・欠損
0040	4-2号橋	5.05	1	PC橋	PC桁橋 (その他)	5.00	1966	56	主桁、下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、変形・欠損、遊間の異常、異常な音・振動、変形・欠損
0023	5-1号橋	3.00	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	3.40	1970	52	下部工	C(3)	II	変形・欠損
0032	II-7号橋	7.00	2	RC橋	RC 中実床版	2.50	1973	49	床版、下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、うき、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0031	II-4号橋	6.70	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	9.40	1973	49	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0045	5-6号橋	2.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1965	57	下部工	C(3)	II	変形・欠損
0035	3-12号橋	2.41	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	2.20	1984	38	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、沈下・移動・傾斜
0038	4-4号橋	2.36	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1966	56	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0024	I-5号橋	3.22	1	PC橋	プレテンT桁	4.15	1965	57	主桁、横桁、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、ひびわれ、定着部の異常
0036	4-3号橋	2.23	1	RC橋	RC 中実床版	5.49	1966	56	下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、変形・欠損
0047	5-8号橋	2.60	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.00	1970	52	下部工	C(3)	II	変形・欠損
0039	4-5号橋	2.20	1	RC橋	RC 中実床版	3.70	1966	56	下部工	C(3)	II	変形・欠損

区分	状態	健全度 ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合	
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	1橋	2%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	12橋	24%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	36橋	73%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	0橋	0%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

3-2) 主要部材の損傷写真 判定区分「Ⅱ」健全度「C(3)」の橋梁(抜粋)



09. 3-2号橋：ボックスカルバート橋
(橋長：3.65m、1972年竣工)
床版下面の2方向ひびわれ
(最大幅0.8mm)



10. Ⅲ-5号橋(下宿橋)：RC T桁橋
(橋長：30.40m、1965年竣工)
主桁下面及び側面の鉛直及び斜め方向
ひびわれ
(最大幅0.4mm)



02. I-1橋：RC床版橋
(橋長：6.60m、1954年竣工)
橋台前面の鉛直方向ひびわれ
(最大幅1.0mm)



10. 3-3号橋(横穴橋)：鋼I桁橋
(橋長：34.85m、1972年竣工)
橋台前面の遊離石灰を伴うひびわれ



49. 横穴歩道橋：鋼I桁橋
(橋長：34.95m、1990年竣工)
床版下面の遊離石灰を伴うひびわれ
(最大幅0.7mm)



48. 中川橋：RC T桁橋
(橋長：26.84m、1966年竣工)
主桁下面及び側面の鉛直方向ひびわれ
(最大幅0.3mm)

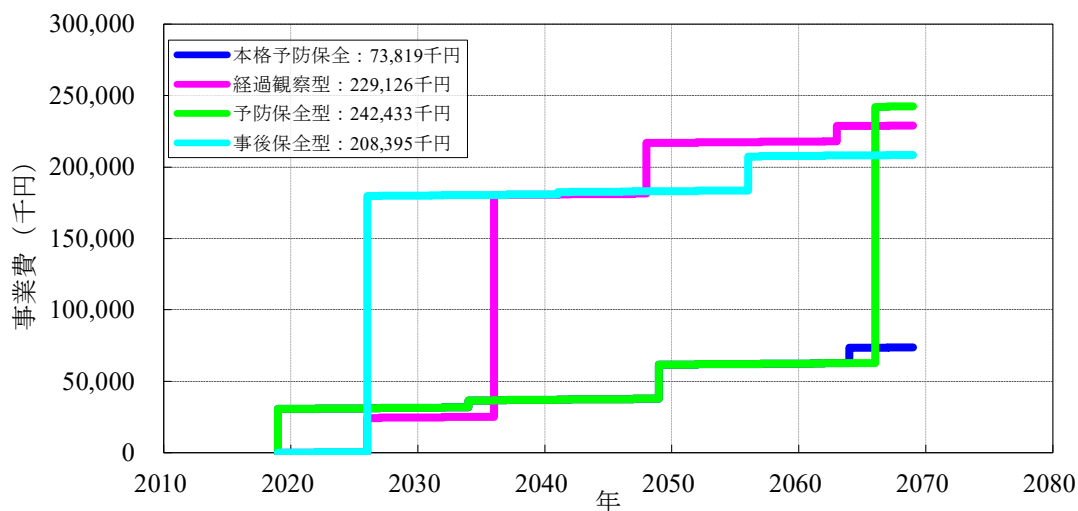
3-3) 修繕計画策定における管理区分を見直しする橋梁

Ⅲ-5号橋（下宿橋）、中川橋、新田橋、高屋橋、礼堂橋は管理区分が「B」の事後保全型の橋梁ですが、事後保全型の橋梁は寿命設定が60年のため2025年頃には更新を迎えることとなり、下表のように多額の予算が必要となります。

しかし、上記の橋梁は竣工後45年以上が経過した時点でも著しい損傷はなく、予防保全型での対策を実施することにより費用も抑えられ、且つ寿命を100年とすることも可能であると考えられるため、管理区分を「A」の予防保全型に変更して修繕計画を策定することとしました。変更することによって管理費用の縮減が図られ、現実的な村の予算に近づけることが可能となります。

中川橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



高屋橋：主桁の腐食



礼堂橋：パイルベント橋脚のひびわれ

4) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・ 構造物の諸元、・ 直近の点検結果及び次回点検年度、・ 対策内容、・ 対策の着手、完了予定年度)
 様式1-2による

※補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

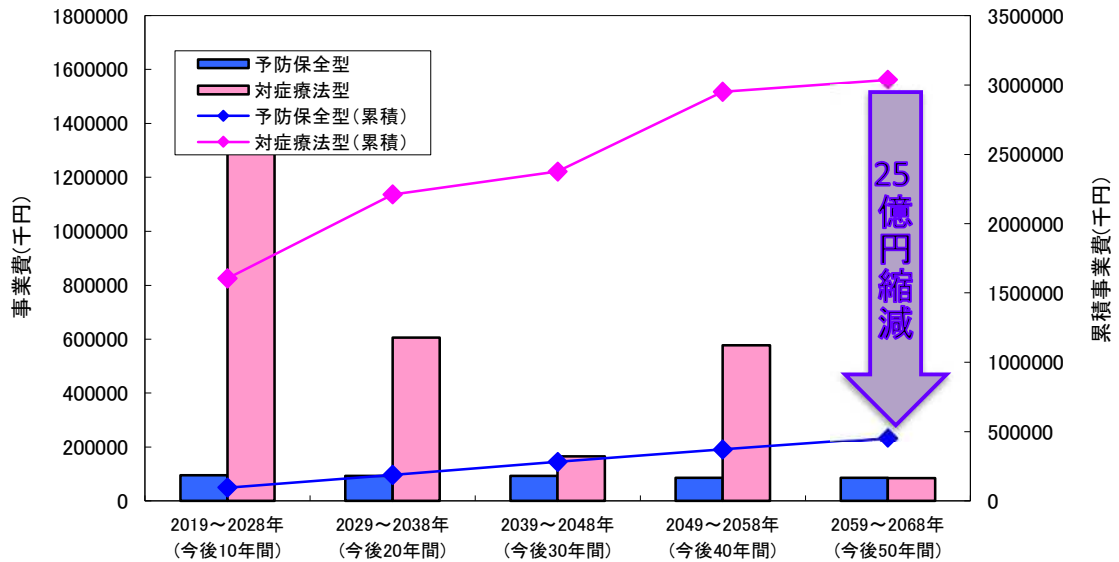
●活用促進技術に指定されている新技術の例
 鋼橋の塗装：錆転換型塗装（登録番号）
 コンクリート部材：断面修復工（登録番号）
 伸縮装置：（登録番号）

(6. 対策費用の概算 (・ 対策に係る全体概算事業費) は、様式1-2、各橋梁の長寿命化修繕計画による)

6. 長寿命化修繕計画による効果

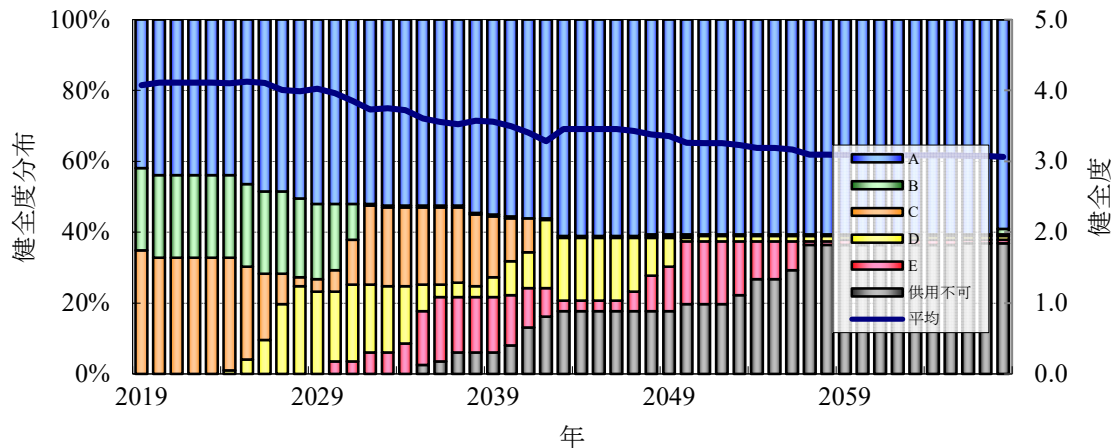
泉崎村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する49橋について、年間の予算制約額を0.10億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が30億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が5億円となり、コスト縮減効果は25億円 (83.3%減) となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移 (主部材)



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
泉崎村 建設水道課

tel : 0248-53-2114

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者 (平成31年2月策定時)
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

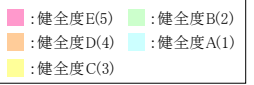
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ←→ 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	判定区分	対策の内容・時期										合計(千円)			
								R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10				
3-2号橋	1級	新田・矢吹線	3.65	1972	50	H28	II	点検						点検					床版:断面修復等	点検	7,614
3-3号橋(横穴橋)	1級	新田・矢吹線	34.85	1972	50	H29	II						点検								
Ⅲ-5号橋(下宿橋)	2級	下宿・弥栄線	30.4	1965	57	H29	II						点検							点検	40,607
横穴歩道橋	1級	新田・矢吹線	34.95	1990	32	H29	II						点検							点検	
I-1号橋	1級	踏瀬長峰・松倉線	6.6	1954	68	H28	II	点検						点検							
中川橋	その他	桙内・踏切線	26.84	1966	56	H29	II						点検							点検	
新田橋	その他	中島・川向線	33.45	1967	55	H29	II						点検							点検	
I-4号橋	1級	太田川・小田川線	4.0	1965	57	H28	II	点検						点検							
4-10号橋	2級	上野館・中島線	2.86	1966	56	H28	II	点検						点検							
I-3号橋	1級	踏瀬長峰・松倉線	8.39	1984	38	H28	II	点検						点検					床版:ひび割れ補修等		3,377
高屋橋	その他	上根岸・豆田線	26.72	1968	54	H29	II						点検							点検	
I-8号橋	1級	踏瀬・町中線	4.0	1954	68	H28	II	点検						点検						床版:ひび割れ補修等	1,787
礼堂橋	その他	下礼堂・下夏針線	27.2	1968	54	H29	II						点検						床版:ひび割れ補修等	点検	
3-4号橋	1級	新田・矢吹線	7.3	1972	50	H28	II	点検						点検							
Ⅲ-10号橋	2級	桙内・如信沢線	4.6	1976	46	H28	II	点検						点検					床版:断面修復等		4,406
4-11号橋	2級	上野館・中島線	7.02	1966	56	H29	II						点検								
Ⅱ-1号橋	2級	踏瀬長峰・高原線	2.39	1955	67	H28	II	点検						点検							
4-7号橋	その他	中宿・山寺線	2.1	1955	67	H29	II													点検	
3-1号橋	1級	八丸・芦ノ口線	2.58	1973	49	H28	II	点検						点検							540
中野橋	その他	二ツ堂線	11.9	1965	57	H29	II													点検	
4-1号橋	その他	柳原・板橋線	5.6	1966	56	H29	II													点検	
Ⅲ-7号橋	2級	狐山・長峰線	5.4	1954	68	H29	II													点検	
Ⅲ-6号橋	2級	下宿・弥栄線	5.2	1954	68	H29	II													点検	
Ⅲ-8号橋	2級	桙内・如信沢線	3.6	1967	55	H28	II	点検						点検							
Ⅱ-3号橋	その他	大堤下・上長峰線	6.02	1954	68	H29	II													点検	
4-2号橋	その他	中島・新田原線	5.05	1966	56	H29	II													点検	
5-1号橋	2級	上町・吉子川線	3.0	1970	52	H28	II													点検	
Ⅱ-7号橋	その他	京塚線	7.0	1973	49	H29	II													点検	1,210
Ⅱ-4号橋	その他	中核工業団地6号線	6.7	1973	49	H29	II													点検	574
5-6号橋	その他	愛宕町線	2.3	1965	57	H29	II													点検	461
3-12号橋	その他	大小踏切桙内線	2.41	1984	38	H29	II													点検	
4-4号橋	その他	堂ノ下・新田線	2.36	1966	56	H29	II													点検	
I-5号橋	その他	居平・中内線	3.22	1965	57	H29	II													点検	
4-3号橋	その他	中島・川向線	2.23	1966	56	H29	II													点検	
5-8号橋	その他	明地線	2.6	1970	52	H29	II													点検	2,100
4-5号橋	その他	堂ノ下・新田線	2.2	1966	56	H29	II													点検	
根岸橋	1級	高屋原・踏瀬線	27.6	1995	27	H29	I													点検	
5-3号橋	その他	愛宕町・関ノ上線	2.2	1965	57	H29	I													点検	88
I-7号橋	1級	踏瀬・下新城線	6.5	1954	68	H29	I													点検	
Ⅱ-5号橋	2級	新宿・大和田線	5.3	2014	8	H28	I													点検	1,249
Ⅱ-2号橋	1級	高屋原・踏瀬線	2.32	1954	68	H28	I													点検	
4-9号橋	1級	新田・蕪内線	2.08	1955	67	H28	I													点検	

凡例： ← → 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	判定区分	対策の内容・時期										合計(千円)			
								R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10				
Ⅲ-9号橋	2級	桙内・如信沢線	3.4	1967	55	H28	I		点検						点検						
Ⅱ-6号橋	その他	広久保線	9.1	1962	60	H29	I				点検						点検				
5-5号橋	その他	宮ノ前・屋中線	6.3	1966	56	H29	I	← →			点検						点検	← →			474
Ⅱ-8号橋	その他	足駄作・合ヶ沢線	3.73	1960	62	H29	I	← →	点検						点検			← →	← →		154
Ⅰ-6号橋	その他	新山田前・柏木沢線	2.2	1965	57	H29	I		点検						点検						
5-7号橋	その他	石名沢・太郎ヶ岡線	5.6	1965	57	H29	I				点検						点検				
3-11号橋	その他	八丸北線	5.45	1967	55	H29	I				点検						点検				
合 計 (千円)								9,748	9,813	9,028	10,346	9,273	8,051	9,899	9,989	10,298	9,779				



番号	橋梁名	諸元							重要度評価指標							総合評価指標				部材健全度		優先順位指標 (A+100-B)	優先順位	優先順位区分	管理区分	管理区分内訳										余寿命 (年)	今後50年補修費用				
		橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	緊急 輸送路	道路 等級	緊急 輸送路	橋長	車道 幅員	道路 区分	バス 路線	交差 条件	重要度 合計 (A)	耐荷性	災害 抵抗性	走行 安全性	平均 (B)					部材種別	健全 度 ランク	緊急 輸送路	道路 区分	バス 路線	該当数	評価 ①	交差 条件	評価 ②	橋長 5m未満		カルバー ト 特異形式	評価 ③	今後5年 (百万円)	残り (百万円)	合計 (百万円)
0009	3-2号橋	3.65	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.80	1972	47	第2次確	1級	5	0	10	10	0	10	35	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	85.0	1	9	S	○	○	-	2	A	○	S	○	○	C	-	0.4	11.4	11.8
0010	3-3号橋(横穴橋)	34.85	1	鋼溶接橋	I桁(不明)	8.00	1972	47	第2次確	1級	5	5	10	10	0	0	30	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	91.7	2	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.4	57.3	57.7
0015	III-5号橋(下宿橋)	30.40	2	RC橋	RC桁橋(その他)	6.00	1965	54	指定なし	2級	0	5	10	5	0	0	20	20.0	30.0	40.0	30.0	主部材	C(3)	90.0	3	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	46	27.3	20.6	47.8
0049	横穴歩道橋	34.95	1	鋼溶接橋	I桁(合成)	0.00	1990	29	指定なし	1級	0	5	0	10	0	0	15	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	81.7	4	10	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	50以上	0.3	3.1	3.4
0002	I-1号橋	6.60	1	RC橋	RC 中実床版	9.00	1954	65	指定なし	1級	0	0	10	10	10	0	30	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	80.0	5	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	B	35	0.3	26.8	27.1
0048	中川橋	26.84	2	RC橋	RC桁橋(その他)	6.00	1966	53	指定なし	その他	0	5	10	0	0	0	15	25.0	25.0	65.0	38.3	主部材	C(3)	76.7	6	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	47	0.4	3.4	3.8
0037	新田橋	33.45	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1967	52	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	15.0	45.0	40.0	33.3	主部材	C(3)	76.7	7	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	48	0.4	3.4	3.8
0005	I-4号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.55	1965	54	指定なし	1級	0	0	5	10	10	0	25	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	75.0	8	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	C	46	0.3	3.1	3.4
0021	4-10号橋	2.86	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.50	1966	53	指定なし	2級	0	0	10	5	10	0	25	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	75.0	9	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	C	47	0.3	3.1	3.4
0003	I-3号橋	8.39	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	9.36	1984	35	指定なし	1級	0	0	10	10	10	0	30	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	70.0	10	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	C	50以上	0.3	6.4	6.8
0029	高屋橋	26.72	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	2.00	1968	51	指定なし	その他	0	5	0	0	0	0	5	20.0	70.0	40.0	43.3	主部材	C(3)	61.7	11	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	49	0.4	3.4	3.7
0001	I-8号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.60	1954	65	指定なし	1級	0	0	5	10	10	0	25	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	60.0	12	10	A	-	○	○	2	A	-	-	-	-	C	35	1.0	4.2	5.2
0026	礼堂橋	27.20	2	PC橋	PC 床版橋その他	4.00	1968	51	指定なし	その他	0	5	5	0	0	0	10	70.0	45.0	50.0	55.0	床版	C(3)	55.0	13	10	A	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	49	0.4	3.4	3.7
0011	3-4号橋	7.30	1	PC橋	PC桁橋(その他)	9.20	1972	47	第2次確	1級	5	0	10	10	0	0	25	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	45.0	14	10	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	B	50以上	0.3	3.1	3.4
0020	III-10号橋	4.60	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.00	1976	43	指定なし	2級	0	0	10	5	0	0	15	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	65.0	15	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	C	17	0.4	7.8	8.2
0022	4-11号橋	7.02	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	8.00	1966	53	指定なし	2級	0	0	10	5	0	0	15	65.0	45.0	50.0	53.3	床版	C(3)	61.7	16	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	C	7	0.4	3.4	3.8
0013	II-1号橋	2.39	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.50	1955	64	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	60.0	17	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	C	0	0.3	3.1	3.4
0041	4-7号橋	2.10	1	RC橋	RC 中実床版	7.55	1955	64	指定なし	その他	0	0	10	0	10	0	20	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	50.0	18	11	B	-	-	○	1	B	-	-	-	-	C	0	0.3	2.7	3.0
0008	3-1号橋	2.58	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1973	46	指定なし	1級	0	0	5	10	0	0	15	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	50.0	19	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	C	14	0.9	3.0	3.9
0025	中野橋	11.90	1	PC橋	PC 床版橋その他	5.25	1965	54	指定なし	その他	0	0	5	0	10	0	15	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	45.0	20	11	B	-	-	○	1	B	-	-	-	-	B	6	0.3	3.1	3.4
0042	4-1号橋	5.60	1	RC橋	RC 中実床版	3.70	1966	53	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	45.0	21	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	7	0.3	3.1	3.4
0017	III-7号橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1954	65	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	40.0	22	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	0	0.3	3.1	3.4
0016	III-6号橋	5.20	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1954	65	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	40.0	23	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	B	0	0.3	3.1	3.4
0018	III-8号橋	3.60	1	RC橋	RC 中実床版	5.40	1967	52	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	40.0	24	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	C	8	0.3	3.1	3.4
0028	II-3号橋	6.02	1	RC橋	RC 中実床版	3.50	1954	65	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	35.0	25	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	0	0.3	3.1	3.4
0040	4-2号橋	5.05	1	PC橋	PC桁橋(その他)	5.00	1966	53	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	50.0	80.0	90.0	73.3	主部材	C(3)	31.7	26	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	7	0.3	3.1	3.4
0023	5-1号橋	3.00	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	3.40	1970	49	指定なし	2級	0	0	5	5	0	0	10	90.0	50.0	100.0	80.0	下部工	C(3)	30.0	27	11	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	C	11	0.3	3.1	3.4
0032	II-7号橋	7.00	2	RC橋	RC 中実床版	2.50	1973	46	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	70.0	90.0	50.0	70.0	床版	C(3)	30.0	28	11	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	B	14	1.6	3.4	4.9
0031	II-4号橋	6.70	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	9.40	1973	46	指定なし	その他	0	0	10	0	0	0	10	75.0	45.0	0.0	40.0	下部工	C(3)	70.0	29	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	-	C	50以上	0.9	2.7	3.6
0045	5-6号橋	2.30	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1965	54	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	0.0	40.0	下部工	C(3)	65.0	30	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	-	C	50以上	0.4	4.7	5.1
0035	3-12号橋	2.41	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	2.20	1984	35	指定なし	その他	0	0	0	0	0	0	0	60.0	40.0	50.0	50.0	床版	C(3)	50.0	31	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	-	C	50以上	0.3	6.2	6.5
0038	4-4号橋	2.36	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1966	53	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	65.0	65.0	50.0	60.0	床版	C(3)	45.0	32	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	-	C	50以上	0.3	5.7	6.0
0024	I-5号橋	3.22	1	PC橋	プレテンT桁	4.15	1965	54	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	45.0	55.0	90.0	63.3	主部材	C(3)	41.7	33	経	C	-	-	-	0	C	-	-	-	-	C	50以上	0.3	2.7	3.0
0036	4-3号橋	2.23	1	RC橋	RC 中実床版	5.49	1966	53	指定なし	その他	0	0	5	0	0	0	5	75.0	45.0	75.0	65.0	下部工	C(3)	40.0	34	経	C	-	-</												